

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：認知症高齢者グループホーム 宇賀の杜・里 楽舎

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：令和5年3月28日（火） 会議資料郵送

会場：書面報告・会議の為、御家族、関係者様へ資料配布

出席者
（人数）

| | | | |
|-------|----|-----------------|----|
| 利用者代表 | 0人 | 高齢者あんしん支援センター職員 | 1人 |
| 利用者家族 | 8人 | 出雲市職員 | 0人 |
| 地域の代表 | 1人 | グループホーム施設長・管理者他 | 2人 |
| 代表取締役 | 1人 | デイサービス管理者 | 1人 |

（議題）

- ・出席者紹介
- ・グループホーム・デイサービス 宇賀の杜 楽舎の入居者利用状況説明
- ・メイン議題「自己評価・外部評価に基づいた反省・検討」「今後に生かす支援」
- ・皆様からのコメント・アドバイス

（報告事項）

グループホーム宇賀の杜・里楽舎 2022 年度第 6 回目となる運営推進会議を書面会議にて杜・里合同で開催致しました。今回も、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、前回と同様に書面会議にて開催致しました。参加者は上記の通りです。

グループホーム杜・里、デイサービスの利用状況について、それぞれ詳細をまとめたものを、資料として同封し、ご確認頂いております。メイン議題である「自己評価・外部評価に基づいた反省・検討」「今後に生かす支援」についての資料をまとめ、同封致しましたが、ご協力頂いた皆様から貴重なご意見やご感想を頂き、有意義な機会となりました。

○グループホーム 宇賀の杜 利用状況 (2022.3.31 現在)

入居者 18 名 (東舎 9 名・西舎 9 名)

男性 6 名 女性 12 名 平均要介護度 2.72

最高年齢 96 歳 最低年齢 68 歳 平均年齢 84.4 歳

○デイサービス 宇賀の杜楽舎 利用状況

現在登録者数 31 名

男性 16 名 女性 15 名 平均要介護度 2.22

最高年齢 98 歳 最低年齢 64 歳 平均年齢 83.3 歳

○グループホーム 宇賀の里 利用状況

入居者 9 名

男性 2 名 女性 7 名 平均要介護度 2.55

最高年齢 98 歳 最低年齢 71 歳 平均年齢 86.8 歳

○メイン議題

「自己評価・外部評価に基づいた反省・支援」「今後に生かす支援」について

新型コロナウイルス感染対策を継続した日々が続いておりますが、引き続き予防に努め、利用者様が安心して生活を送って頂けるように支援を行っております。

令和 4 年度 11 月に外部評価の調査がありました。外部からの評価機関の目を通して利用者様の視点に立ち、サービスの質を評価します。そして利用者様がより良く暮らすことができ、御家族様が安心できるグループホーム作りに生かす支援につなげます。調査の前に、楽舎のスタッフ一人一人が自己評価を行いました。初めて取り組むスタッフもいましたが、日頃楽舎で取り組んでいる支援を振り返り、見直すことができました。次に、外部評価機関から御家族様へ、アンケート調査を実施されました。

調査当日は、調査員 2 名の方が来所され、管理者、スタッフへのヒアリング、利用者様と同じメニューの昼食を食べて頂き、コロナ感染防止対策の為、施設内を窓越しで見学されました。

最後に調査員の方と施設長、管理者との意見交換を行い、御家族様からのご意見も教えて頂きました。スタッフからのヒアリング、自己評価から質疑応答をした中で楽舎での取り組み、支援について説明を詳細に行いました。

調査員の方よりアドバイスや他事業所の取り組みのご紹介を頂き、楽舎での支援の振り返り、見直しができました。その一つとして、毎日楽舎では廊下を歩く運動を行っていますが、目に見える取り組みの提案を頂き、達成感を感じて頂く取り組みとして歩いた回数のシールを貼って見えるところに張り出し、今年度の楽舎の取り組みの「下肢筋力強化」と併せて取り組んでおります。

資料を参加者様へ配布し、参加の皆様よりご意見を頂きました。

〈ご家族様から〉

・いつもお世話になりありがとうございます。資料読ませていただきました。祖父、祖母も廊下を職員さんと歩いていた姿を思い出しました。現在も祖母は付き添いをしていただきながら歩いているおかげで歩行できているのだと感謝しています。職員さんや利用者さんが変わっても歩くことを継続されていることはすばらしく、ありがたいことだと思っています。今後もよろしくお願いします。

・歩く所、すぐにシールを貼られたりして目に見える事は利用者さんにとってもやる気が出て良い事だなって思いました。資料作り大変なのにもいつもすみません。とても分かりやすかったです。

・母が骨折し、入院していましたが、退院後スムーズに復帰できて喜んでおります。細やかなケアをしていただいていることに感謝申し上げます。身体的なご配慮に加え、精神的な見守りをして下さるおかげで家族も安心しております。資料を拝見致しましたが、施設としてさらなる向上をめざしておられることがよくわかり、感服しています。今後ともよろしくお願い致します。

・母に対しては良くしてもらっており満足しています。年による衰えはしょうがないですが、元気に暮らしてほしいと思います。

・グループホーム宇賀の杜へ入所出来て弟は幸せ者といつも思っています。職員さんがいつもよくして下さりこれ以上の要望はないです。現状のままでいいです。

・先日は入院し心配しましたが無事退院しまして一安心しております。高齢でありますので今後も何かと迷惑をおかけするかと思いますが、今まで通りよろしくお願いします。

・今回はより増して、色々と大変お世話になりました。一般の家でも一人でも病気になると大変ですのに、それぞれ違うお年寄りの人の面倒をみて頂きました。本当に助かっております。(コロナが)早く解除になるといいと思っています。

〈役員代表から〉

・外部評価、自己評価について、スタッフの皆様の知恵、頑張りには感心します。質の向上も大切ですね。どんな仕事に関しても言える事かと思えます。コロナ禍の中での生活、どこの施設でも同じかと思えますが、各事業所ごとの考え方、作業の仕方でこんなに大きく変わるのかとびっくりしています。100%は決してないかと思えますが、目標に近づけるよう頑張っていたいただきたいです。

〈地域代表者様から〉

・外部評価からの評価をお受けになられ大変でございましたね。終わられれば全てが良好でほとなされたこととごさいますね。私も覚えがありますが、文部省、厚生省の監査があり書類の提出などで気持ちの上で大変であったことを思い出しました。だんだん暖かくなり過ごしやすくなって参ります。どうかもう少しコロナに気をつけてお働き下さいますように。

〈包括支援センター職員様から〉

・コロナ禍でも楽舎の特徴を活かした取り組みが大いに認められている様子、スタッフの皆様の努力を感じることができました。特に「下肢筋力強化」の取り組みは非常に有意義なものだと思います。アドバイスがあったと言うことですが具体的にどのようなアドバイスがあったのかを教えていただければと思います。

(楽舎より)

貴重なご意見やアドバイスを頂きありがとうございました。あんしん支援センターの方からご質問について、支援や取り組み結果を目に見える形にして達成感を感じて頂けることにつなげてみては、と調査員の方よりアドバイスをして頂きました。(例 歩いた回数グラフにしてみる→シールで表にした) この度頂いた外部評価の結果を今後の支援に活かし、理念を継続した取り組みを行っていきたいと思います。

以上